

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	幼児教室セグナ				公表日	令和8年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		常時配置基準を超える人員が配置されている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		階段を使った移動の際には必ず職員が付き添い、安全を確保している。	2階への階段が途中で踊り場等がなく、やや急である
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		体調不良や気持ちが不安定になった場合には、別室の利用が可能	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		一部の職員の参画が低調な状況がある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		個別支援の場合、担当職員に任されることが多い

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	地域センターはないが基幹との連携を図ることは出来ている。	地域にセンターが存在しない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		全員、保育園との併用。 同法人の保育園にて他の子どもと活動することができている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家庭での関りについての助言等は適格に行っている。確立された家族支援のプログラムは有していない。必要に応じてペアレントトレーニングは始めていきたい。	確立された家族支援のプログラムは有していない。必要に応じてペアレントトレーニングは始めていきたい。
		35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的な面談とは別に、日々の受け渡し時や必要に応じて助言と支援を行うことが出来ている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		父母の会支援や保護者会の開催については、ニーズに合わせて検討していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		地域住民を行事に招いたことはないが、必要に応じて取り入れていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			食物アレルギーの対象児童が在籍していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	幼児教室セグナ		公表日		令和8年4月1日		利用児童数	19	回収数	13
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12		1		保護者の方への説明を十分に行う			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13							
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			日々、工作をしたり体を動かしたり、様々なことをさせていただき、子どもも楽しんでいます！				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12			1				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			時間を作ってください、丁寧に説明してもらいました。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			3	現状、ペアレントトレーニングや家族で参加できる研修会を行っていない為、利用者や保護者の方のニーズに合わせて検討していく			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				いつも会うと声をかけてくれるので、なにかあればその都度話して共有できています。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		4	毎年様々なイベントを企画していただきありがとうございます！ぜひ今後とも沢山のイベントを楽しみにしています！	父母の会の支援や保護者会の開催については、今後の検討材料としたい		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				1	保護者の方への説明を十分に行う		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12		1	毎週メールでも子どもの様子を教えて下さっているので、安心してお任せできています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12		1	しっかり避難訓練をしてくれていて、子どもも教わったことを親の私に教えてくれます。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13			いつも見守ってくれている先生たちのことが大好きで、安心して通えています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13			「今日はセグナだったんだよ！」と楽しそうに報告してくれて、子どもも通うのが大好きです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13			とても満足しています。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幼児教室セグナ		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同一法人の保育園に通う児童が多いこともあり、幼児期の母子分離や、年齢に応じたお友だちとの関り方や、個々の成長に合わせて必要な身の自立や理解などで苦手としているところの情報交換がしやすく、目標を明確にしやすいところが強みです。 ※面談等で保護者に確認を行っています。	午後の個別の療育では、「本当は僕だってできるのに」「もう少しゆっくり説明してくれば分かるのに」など本人の段階に合わせた内容を常に職員は拾い上げて、個別の時間に落とし込んでいます。個別で褒められた経験は、自信に繋がり、日々の生活で実を結んでいます。	「できる」「できない」だけで判断せず、本人のペースや気持ちを尊重するためには何が支えとなるのか、どのような場面でどのようにサポートすることで本人が充実した時間を過ごすことができるのか、などを常に意識しながら支援にあたっています。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設基準は満たしているものの、療育スペースが1階と2階に分かれていることもあり、職員の配置状況によっては1度に療育出来る人数に制限を受けることがある。	基幹職員を含む職員の異動や新入職員の受け入れがあったことから、療育に対する考え方の共有や、職員個々の療育の知識・技量の向上が課題である。	研修機会の確保を行う。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幼児教室セグナ		公表日			令和8年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	4				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	4		毎週会議を行っている。何かあった際は事業 所全体に周知している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		4			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3	1			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	4				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	4				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	4				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	4					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	幼児教室セグナ
------	---------

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 20 回収数 13

	チェック項目	はい	どちらともいえない		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	10	1		2		集団での様子、訪問支援の内容等、より具体的に伝えていく必要がある
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	13					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13					
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	12			1	いつも臨機応変に子どもに合わせて動いてくれて助かっています	保護者の方との情報共有を密に行う
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				先生たち1人1人が子どもの性格を分かってくれて接してくれるので、子どもも楽しく過ごせています	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10				3	現状、ペアレントトレーニングや家族で参加できる研修会を行っていない為、利用者や保護者の方のニーズに合わせて検討していく
	15 必要となごにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	13					日々子どものことを気にかけて下さり、顔を合わせると声をかけてくれるので、何かあればすぐに相談して情報共有できています
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					面談もこまめにしています	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					家でできたこと、困ったことを伝えるとすぐに動いて支援してくれるので、母子ともに助かっています	
18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				1	相談を受ける体制が整っていることについて保護者の方への周知、説明を十分に行う	
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13						

保護者への説明等	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	13					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		1		保護者の方との日々の情報共有を密に行う
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	13					
	28	事業所の支援に満足していますか。	13					

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幼児教室セグナ		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同一法人の保育園の利用児童が、訪問対象児童に多い為、常に訪問の職員と対象児童が顔の見える関係にあります。又、保護者、現場の担任の先生、訪問の職員とで連携がとりやすく、意見交換がしやすい風通しの良い環境であることが強みだと感じています。保育士としての現場経験の年数が多い職員が揃っていることも強みだと思います。	「もう少し時間をかけたいこと」「これさえ整えば次にすすめるのに」「ぼくを、わたしを一番に見てほしい」など、大きな集団の中では埋もれてしまっただけ、本人にとっては誰よりも大切なことを尊重して集団では自己肯定感が高められるように常に意識しています。	同一法人の児童発達支援に当たる職員も、人員配置を厳守することを前提に、可能な時には訪問の職員と共に保育現場に出向いて、対象児童の支援に当たって充実した集団行動が送れるように協力している。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1		保育所等訪問支援の支給量は原則2日ですが、同一法人で保護者、保育園とで常に連携がとれる環境にあります。与えられた支給量で1人1人の児童に対して何が出来るのか、保護者や児童が何を求め、どのように応えて行くのか、常に見直しをしていくことが重要であると考えます。	引き続き制度の趣旨に沿った支援を行えるよう努める。
2			
3			

(訪問先施設の皆さまへ)

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所を受け入れている訪問先施設の方に、保育所等訪問支援事業所の評価をしていただくものです。

(詳細につきましては、別紙「保育所等訪問支援における評価制度(自己評価・保護者評価・訪問先施設評価)の導入について」をご参照ください。)

○ 「はい」「どちらともいえない」「いいえ」のいずれかに○を記入するとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○			助言は一方的ではなく、利用児の様子と園生活に合わせた提案をして下さるので、非常に取り入れやすいです。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○			経験豊かな訪問支援員の方なので、知識・技術共に大変満足しています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	○			いつ・どんな場面で質問しても、適切に回答して頂いています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○			全ての課題や困りごとについて、軽減を感じています。引き続きの受入れで解消を目指したいと思っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	○			大変満足しています。

その他、お気付きの点をご記入ください。